shopifyで配送条件が複数ある場合の注意点

事例1

送料無料商品と別途見積もり商品がある

大型商品のように、送料を無料にできないアイテムは「別途見積もり」として送料を後日連絡する運用が考えられます。この場合、Shopifyでは該当商品の送料を0円に設定し、配送の表記を「送料別途見積もり」と明記する方法がよく用いられます。ただし、「送料無料」商品と「送料別途見積もり」商品を同時購入されると、カート内の送料表記が「送料（合計）無料」となり、送料が発生することが伝わらない恐れがあります。ユーザー体験上、混乱を招くポイントです。

事例2

クール便と通常配送でそれぞれ一定の金額で送料無料

- ・通常送料500円、5,000円以上で送料無料
- ・クール便送料500円、5,000円以上で送料無料

<希望の結果>

通常4,999円とクール便4,999円の場合 それぞれ送料500円かかり、送料合計1,000円としたい。

<shopifyの仕様>

shopifyのシステムで合計されて5,000円以上送料無料となる。

解決案1

異なる送料設定の商品は同時に購入できないようにする。

RuffRuff 注文制限 | 個数や金額、顧客タグで購入制限
<https://apps.shopify.com/ruffruff-order-limits?locale=ja>
 同梱ルールで特定のコレクション（クール便など）のみ同梱可能にし、それ以外のコレクションは同時に購入できない設定が可能です。

解決案2

アプリで配送ルールを設定し、チェックアウト時の送料を表示する

Advanced Shipping Rules
<https://apps.shopify.com/vendor-shipping-rules-1?locale=ja>
 2つの製品グループ（送料無料、別途見積もり）
 1 ブレンドレート（上記条件が重なった場合）
 配送方法の表示と価格の設定が可能

※アプリ導入の注意

shopifyのプランを「Shopify」以上にすることが必要（Basicプランではできない）
 また、shopifyプラン契約前の開発状態で動作確認できても、Basicプランを契約した時に動作しくなくなります。

- 記載されている製品やユーザー様に関する情報は事前の予告なしに変更する場合があります。
- 本文中に記載の会社、ロゴ、製品の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

ART PEACE

〒150-0013
 東京都渋谷区恵比寿1-24-16 カルチェ恵比寿202

<https://artpeace.jp/>
info@artpeace.jp